

各システム連携方式

公共工事進行管理システム

電子国土Web

総合評価方式審査集計システム

財務会計システム

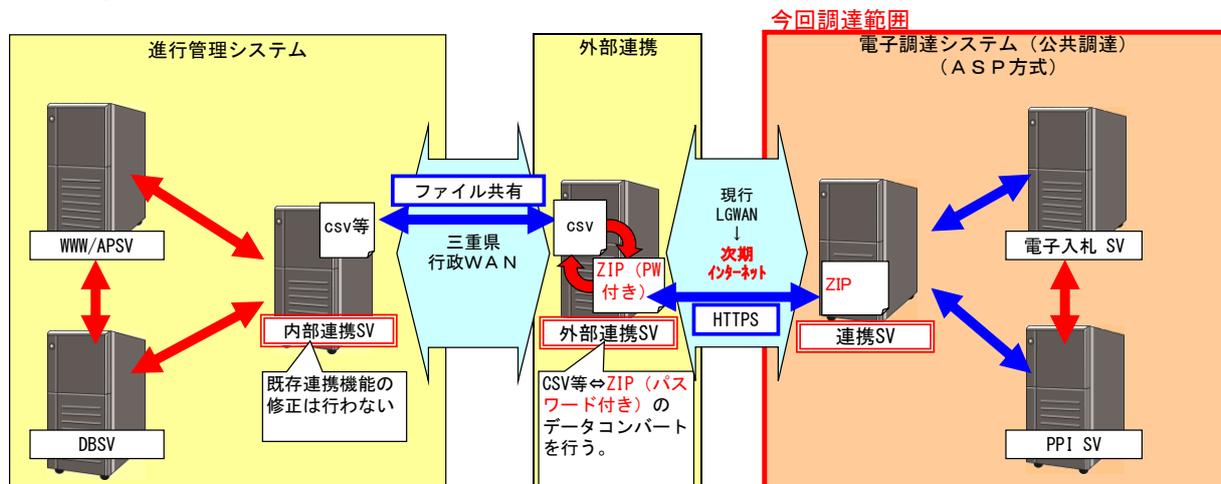
公共工事進行管理システムと三重県電子調達システム（公共調達）の連携

1. 現行の公共工事進行管理システムと三重県電子調達システム（公共調達）の連携

公共工事進行管理システム側で準備された外部連携SVとHTTPS通信によるデータ連携を行っている。

データ形式は、ZIP（パスワード付き）形式による。（添付ファイルは、xls、doc、pdf等）

公共工事進行管理システムサーバと電子調達システムは、電子調達システム側で作成・提供した自動連携モジュールにてデータ連携を行っている。



主な連携項目

- 内部連携SVから外部連携SV
 - 案件公告情報（添付ファイル含む）
 - 指名・非指名情報
 - 制限価格公開情報（添付ファイル含む）
 - 業者情報
- 外部連携SVから内部連携SV
 - 参加業者情報（指名競争以外）
 - 入札結果情報
- 外部連携SVから電子調達システム連携SV
 - 案件公告情報（添付ファイル含む）
 - 指名・非指名情報
 - 制限価格公開情報（添付ファイル含む）
 - 業者情報
- 電子調達システム連携SVから外部連携SV
 - 参加業者情報（指名競争以外）
 - 入札結果情報

○ 進行管理システム運用時間
8：00～22：00

○ 電子調達システムとの連携時間帯
8：00～22：00 ※5分間隔

3. 連携構築にあたっての注意事項

※次期システムより外部連携と電子調達システム（公共調達）の連携はLGWANからインターネットに変更する。

※セキュリティの関係から、外部連携サーバ側からの配信要求が必要。（プル形式）

※連携方式（通信プロトコル、ファイル形式、連携データ内容、連携タイミング等）について、既存システムとの協議が必要となる

※連携エラーが発生した際、県側でも検知できる仕組みが必要。

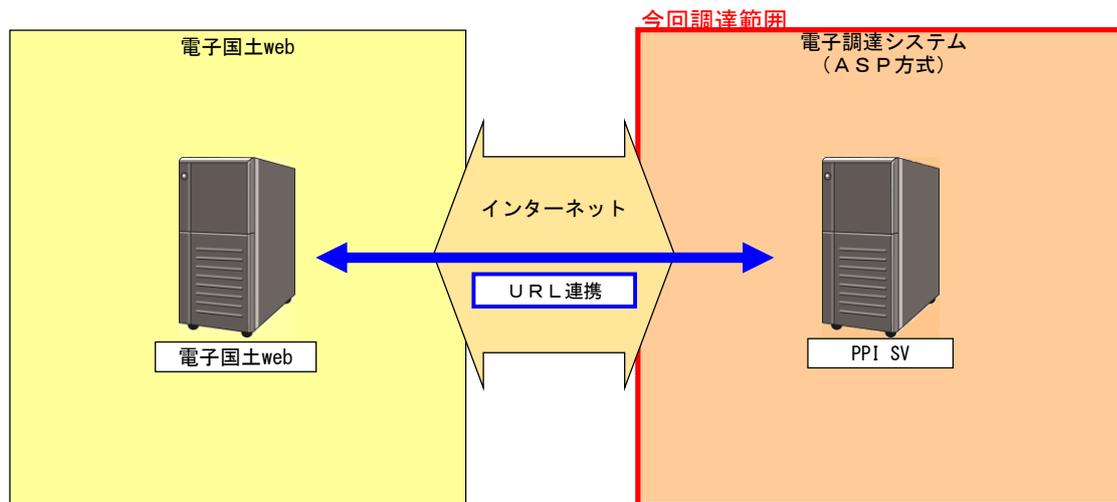
エラーチェックとして想定する内容は以下の通り

- ・起動チェック（連携処理が2重起動していないかチェック）
- ・接続確認チェック（連携を行う前に、事前に連携SVへ接続できるかチェック）
- ・ファイルの整合性チェック（送信前ファイルのハッシュ値、送信後ファイルのハッシュ値を比較し、ファイルの整合性が送信前、送信後で正しいかチェック）

電子国土Webと入札情報サービスシステム（公共調達）の連携

1. 現行の入札情報サービスシステム（公共調達）との連携

入札情報サービス（公共調達）とURL連携を行っている。



主な連携項目

- 入札情報サービスシステムから電子国土Webサイト
 - 入札案件情報（位置情報URL）
 - 入札結果情報（位置情報URL）

○連携時間

随時（参照したタイミング）

3. 連携構築にあたっての注意事項

※電子国土WebのURL体系が変更となった場合でも、柔軟に対応が必要。

総合評価方式審査集計システムと電子入札システム（公共調達）の連携について

1. 現行の電子入札システム（公共調達）との連携

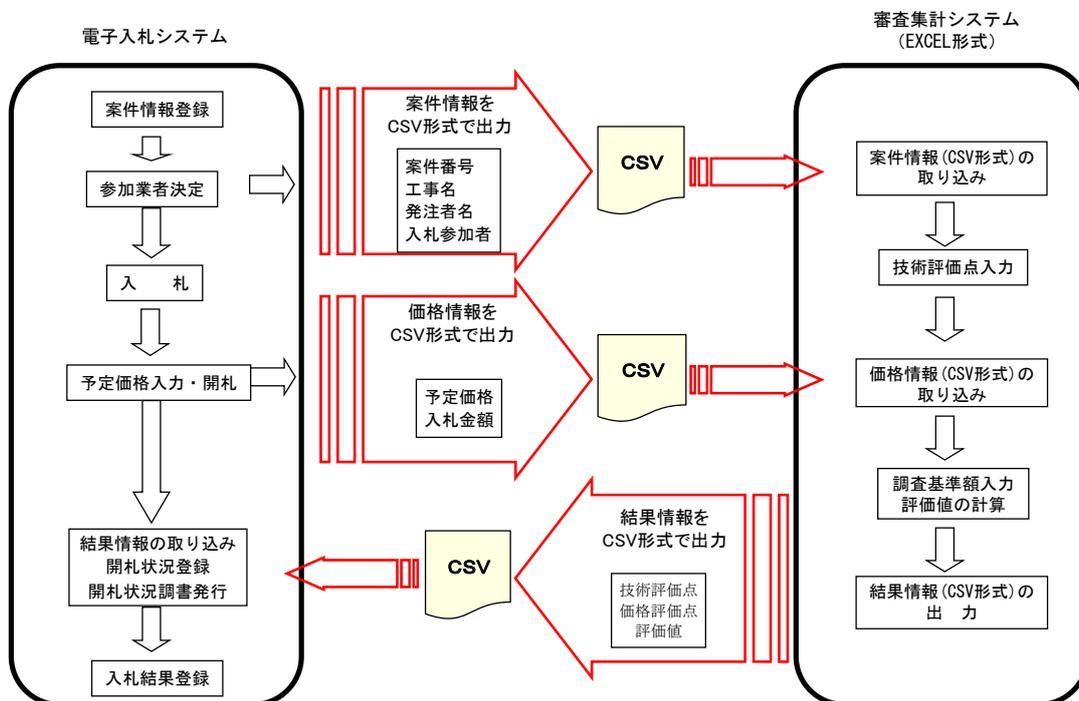
①電子入札システムから案件情報及び価格情報をCSV形式にて出力し、外部媒体等に保存。

②保存されたファイルを審査集計システム（Excelファイル）に取り込みを行う。

③審査集計結果をCSV形式にて出力し、電子入札システムに取り込みを行う。

※電子入札システムの入札状況登録画面に、ファイル取り込み及び出力ボタンを配置している。

※データ形式は、全てCSV形式による。



2. サービス提供型電子調達システムとの連携

現行と同様の形式にて、データの連携を行う。 ※電子調達システム運用時間内

①電子入札システムから案件情報及び価格情報をCSV形式にて出力し、外部媒体等に保存。

②保存されたファイルを審査集計システム（Excelファイル）に取り込みを行う。

③審査集計結果をCSV形式にて出力し、電子入札システムに取り込みを行う。

※電子入札システムの入札状況登録画面に、ファイル取り込み及び出力ボタンを配置している。

※データ形式は、全てCSV形式による。

3. 連携構築にあたっての注意事項

連携方式（ファイル形式、連携データ内容）について、機能作成時に既存システムと協議し、入・出力内容の確認が必要となる

財務会計システムと三重県電子調達システム（物件調達）の連携

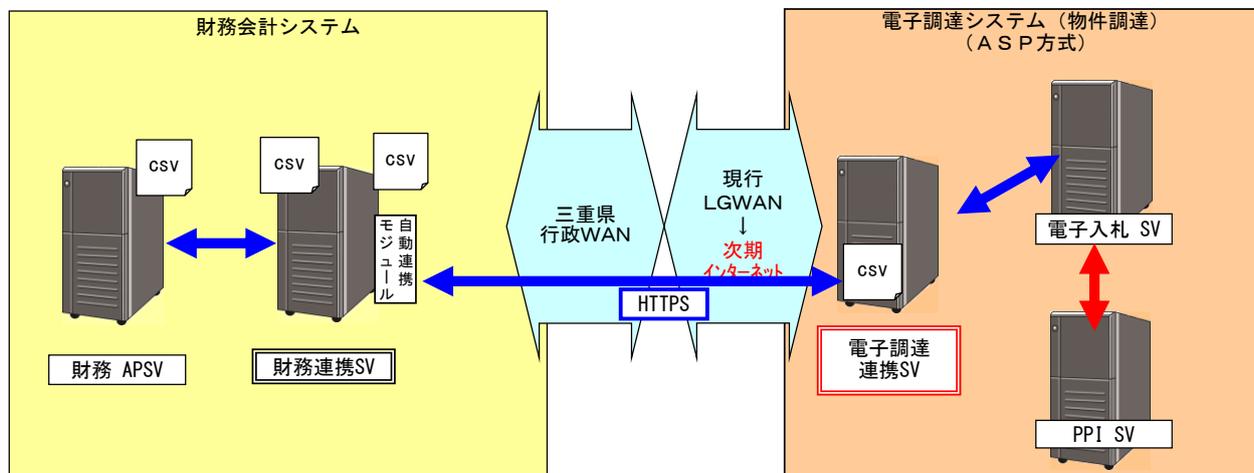
1 現行の財務会計システムと三重県電子調達システム（物件調達）の連携

財務会計システム側で準備された財務連携SVとHTTPS通信による自動データ連携を行っている。

データ形式は、CSV形式による。（添付ファイルは、xls、doc、pdf等）

財務連携サーバと電子調達システムは、電子調達システム側で作成・提供した自動連携モジュールにてデータ連携を行っている。

なお、自動連携モジュールの作成・保守も本契約に含むものとする。



主な連携項目

○ 財務APSVから財務連携SV

- 業者情報
- 単契物品発注情報

○ 財務連携SVから財務APSV

- 落札結果情報
- 品目落札結果情報

○ 財務連携SVから電子調達連携SV

- 業者情報
- 単契物品発注情報

○ 電子調達連携SVから財務連携SV

- 落札結果情報
- 品目落札結果情報

○財務会計システム運用時間

通常時運用時間：平日 8：30～17：15

繁忙時運用時間：平日 8：30～19：00（最大2時間延長）

※繁忙期：毎年3月1日～5月31日

○電子調達システムとの連携時間帯

連携内容	連携周期	実行タイミング
業者情報	日次：1回／1日	夜間（19時）
単契物品発注	随時：1回／15分＋日次	9時～17時＋夜間（19時） ※繁忙期 9時～19時＋夜間（20時）
落札結果情報	随時：1回／15分	9時～17時 ※繁忙期 9時～19時
品目落札結果情報		

2 連携構築にあたっての注意事項

※セキュリティの関係から、財務連携サーバ側からの配信要求が必要。（プル形式）

※連携方式（通信プロトコル、ファイル形式、連携データ内容、連携タイミング等）について、既存システムとの協議が必要となる

※連携エラーが発生した際、県側でも検知できる仕組みが必要。

エラーチェックとして想定する内容は以下の通り

- ・起動チェック（連携処理が2重起動していないかチェック）
- ・接続確認チェック（連携を行う前に、事前に連携SVへ接続できるかチェック）
- ・ファイルの整合性チェック（送信前ファイルのハッシュ値、送信後ファイルのハッシュ値を比較し、ファイルの整合性が送信前、送信後で正しいかチェック）